

# 2学年だよ

上越市立板倉中学校  
第2号 4月23日発行  
文責 学年主任 金子 均

## 前向きな言葉を使おう ～「できる」と思うことは実現できる～

4月20日（火）の学年朝会で、学年主任として2年生の皆さんに、以下のような話をしました。

先日、ある本を読んだら次のようなことが書かれていました。

会社でAさんは、あるプロジェクトの企画を任せたいと上司に指示されました。Aさんは「必ず成功できる」と言います。同じことをBさんが指示されました。するとBさんは「絶対に成功できない」と言います。どちらが正解でしょうか。そう書かれてありました。答えなんてあるのかなあと思い、ページをめくって答えを読みました。答えは、「両方とも正解」と書かれていました。ということなのでしょうか。本の続きにはその理由が書かれていました。

Aさんは「成功できる理由をかき集め、成功するための行動をして、成功するまで実績を積む」から成功します。Bさんは「成功できない理由をかき集め、失敗するための行動を積む」から成功できないのです。

「なるほど」と思いませんか。そうなのです、「前向きな言葉」を使っていると、頭が勝手に成功する理由をかき集めてくれるのです。逆に「後ろ向きな言葉」を使っていると、頭が勝手に失敗する理由をかき集めてしまうのです。

具体的に言いましょ。 「がんばろう」「やれそうな気がする」「きっとできる」「わくわくするなあ」こんな言葉を反射的に返すことができれば、どんどん出来ることが増えていきます。反対に「無理！」「できるわけないじゃん」「面倒くさい」「やだなあ」こんな言葉を使っていたら出来ることが一向に増えていきません。

例えば、漢字テストで50個覚えなくてはならないとします。「50個ならやれそうだ」「漢字を覚えるのが楽しみ」なんて思えば、きっと合格点がとれるでしょう。反対に「50個なんて無理だよ」「漢字書けなくても大したことないし」などと思ってしまうと、そもそも覚えようとしなくなります。

また、「だって小学生の時にやってもできなかったから、中学生でやろうとしても無駄だよ」と思っている人がいるかもしれませんね。それって本当でしょうか。小学生の時にできないことは中学生になってもできないのでしょうか。違いますね。みなさんは成長しています。昔出来なかったことでも、今ならできることってたくさんありますよ。

心と言葉はつながっています。前向きな言葉を使っていると前向きな気持ちになります。さあ、今から前向きな言葉使っていきますよ。



### 身近な人に職業インタビュー

「総合的な学習の時間」では、「働くこと」について学習をしていきます。最初の課題として、「身近な人への職業インタビュー」を実施します。お子さんが保護者の皆様にインタビューをします。質問に対して分かりやすく答えていただきたいと思います。ご協力をお願いします。

